

令和5年度 介護支援専門員 専門研修 課程Ⅱ 開催要綱

1 目的

現任の介護支援専門員に対して、一定の実務経験をもとに、必要に応じた専門知識及び技能の修得を図ることにより、その専門性を高め、多様な疾病や生活状況に応じて、医療との連携や多職種協働を図りながらケアマネジメントを実践できる知識・技術を修得し、もって介護支援専門員の資質向上を図ることを目的とする。

2 主催 石川県

3 実施機関 社会福祉法人 石川県社会福祉協議会 福祉総合研修センター

4 対象者

(1) 介護支援専門員としての実務に従事している者であって、原則として就業後（もしくは更新後）3年以上の者

① 本研修は「更新研修A」を兼ねています。介護支援専門員証の更新には、本研修の受講が必要です。

ア	初めて更新する場合	「専門研修 課程Ⅰ」を修了後、本研修を受講。
イ	過去に専門研修 課程Ⅰを受講済みである場合	本研修のみ受講。 ※ <u>主任介護支援専門員の資格をお持ちの方</u> 介護支援専門員証の有効期間内に「 <u>主任介護支援専門員更新研修</u> 」を受講し、修了した場合は、本研修は免除となります。 詳しくは石川県長寿社会課（TEL076-225-1498）にお問い合わせください。

② 今回、本研修を受講した場合、介護支援専門員証の有効期間が満了する年度に改めて本研修を受講する必要はありません。

(2) 全日程をオンラインで受講できる方に限ります。

【注意事項】

1) 介護支援専門員証の有効期限が令和6年1月から12月の方（更新研修A対象者）で、石川県長寿社会課から今年3月にご自宅に送付されたご案内に対して、既に申込みをした場合は、今回改めて申込み必要はありません。

2) 本研修は、更新研修Aの対象者を優先しますので、専門研修 課程Ⅱとしての受講者（更新時期が令和7年1月以降の方）の定員は、下記のとおりとなります。ただし、更新研修Aの申込者状況によっては、定員の範囲内で調整する場合があります。また、更新研修Aの申込者が多数の場合、専門研修 課程Ⅱの募集は中止させていただく場合もございますので、あらかじめご了承ください。

3) 本研修では事例研究を行うため、指定された項目の事例を作成し、事前に提出していただきます。作成する事例の項目は、別紙「事例の提出について」にある6類型から、募集時に提出できない事例を聞き、受講承認時に指定します。

5 定員 30名 ※申込期間中でも定員に達し次第、締め切らせていただきます。

※更新研修Aの申込者が多数の場合、募集を中止させていただく場合がございます。

6 期日・研修内容

9月6日(水)、13日(水)、14日(木)、27日(水) 全4日間
別紙プログラムの3コースをご参照ください。(1・2コースは受講できません。)

7 開催方法

Zoomを使用したオンライン研修

※インターネットができる環境と、1人1台のパソコンやタブレット端末が必要です。
※グループワークがありますので、必ずカメラ付きの機器(外付け可)をご用意ください。
※契約通信料(ギガ数)が少ない場合は、Wi-Fi環境下での受講をお勧めします。

8 受講料 12,000円(納入方法などの詳細は受講承認通知でお知らせします)

9 テキスト

介護支援専門員現任研修テキスト 第2巻 専門研修課程Ⅱ 第3版(中央法規出版(株)発行)
<4,180円(税込)>(購入方法などの詳細は受講承認通知でお知らせします。)

10 申込方法

石川県社会福祉協議会ホームページより、お申込みください。

申込期間：4月17日(月)～4月24日(月)【厳守】

申込期間が短くなっておりますのでご注意ください。

申込期間中でも定員に達し次第、締め切らせていただきます。

ホームページからの申込手順

- ① 石川県社会福祉協議会ホームページ(URL：<https://www.isk-shakyo.or.jp/>)の上部メニュー **福祉の研修** をクリックします。
- ② 「研修新着情報」から受講希望の研修名をクリックすると、「検索結果」が画面の下方に表示されます。
- ③ 受講希望の研修であることを確認の上、右欄の **申込** をクリックすると、「研修申し込み」が表示されます。
- ④ 必要事項(※印は必須項目)を入力後、**申込確認画面へ** をクリックし、入力内容を確認の上、**申し込む** をクリックして、申し込み完了です。

⑤ 申し込み後、すぐに「受付確認書」がメールで送信されます。メールが届かない場合は、メールアドレスが正しく入力されていない可能性がありますので、福祉総合研修センターまでご連絡ください。

なお、「受付確認書」は受講を承認するものではありません。後日、「受講選考結果」がメールで送信されます。

申込画面入力の注意事項

携帯電話会社のキャリアメールアドレス (@docomo.ne.jp、@ezwb.ne.jp、@icloud.com など) の際は、メールが届かない場合がございます。

資料の送付等に使用いたしますので、出来る限り上記以外の、パソコン等メールアドレスのご入力をお願いします。

(1) ケアマネ登録番号	ケアマネ登録番号（半角数字8桁）を入力してください。
(2) ケアプラン作成件数	令和5年4月1日現在の担当件数を「〇件」と入力してください。（半角数字）
(3) ケアマネ実務従事期間	現在お持ちの介護支援専門員証の交付日から、令和5年4月1日現在で「〇年〇か月」と入力してください。（半角数字 例：4年5か月） ※上記期日で3年を越えていない場合、研修開始日の前日（9月5日（火））までを実務従事期間とします。
(4) 保有資格	介護支援専門員以外の保有資格を入力します。（例 介護福祉士、看護師等）
(5) 提出を希望しない事例類型について	別紙「事例の提出について」にある6類型から、提出を希望しない事例テーマがあれば、事例をアルファベットで入力してください。（最大3つまで） （例：事例A、事例Cが提出できない場合、「A、C」と入力） ※なるべくご回答を考慮させていただきますが、場合によっては希望に添えないこともあり得ますので、その点はご了承ください。
(6) 携帯電話番号	研修当日等に連絡が取れる携帯電話番号を入力します。 （半角数字・ハイフン有 例：090-1234-5678）
(7) Zoom使用経験	Zoomの使用経験について「有」または「無」を入力します。

11 受講承認について

定員の範囲内で受講者を承認し、結果は5月12日（金）までに研修申込時に入力されたメールアドレスに通知します。

送信予定日を過ぎても通知が届かない場合は、福祉総合研修センターまでご連絡ください。

12 修了証明書の交付等

全日程を修了した方には、修了証明書を後日郵送します。

注) 原則として、15分以上の遅刻、早退、離席の場合は、欠席とみなします。

居眠りや受講中の携帯電話の使用等、受講態度が著しく不良な場合には、修了した者として認めない場合があります。

13 個人情報の取り扱い

研修申込みの際に入力いただいた個人情報については、受講者名簿の作成及び研修に必要な連絡のために利用し、他の目的には使用いたしません。

14 申込・お問合せ先

石川県社会福祉協議会 福祉総合研修センター 担当/越柴、羽場

※4/16まで 〒920-0964 金沢市本多町3-2-15

※4/17以降 〒920-0022 金沢市北安江3-2-20 金沢勤労者プラザ 4階

TEL 076-221-1833 FAX 076-221-1834

事例の提出について（課程Ⅱ）

専門研修課程Ⅱでは、グループワークで使用する事例の提出が必要です。

以下の6類型の中から指定された項目の事例を作成し、事前に提出していただきます。

詳細については、受講承認時にお知らせします。

6 類型

【研修で使用する類型】

項目	科目名	キーワード例
A	リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	筋力低下改善・日常運動の強化・リハビリテーション実施・住宅改修・福祉用具利用・外出支援・高齢者の外出先の開発・外出時の休息やトイレについて・機能強化ロボット使用等
B	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	痛みの改善の取組・生活機能低下における対応・死の受容に関する事・緩和療法・葬儀に関する相談対応・遺品に関する相談対応・生きがいの実現・看護サービス利用について 等
C	認知症に関する事例	初期診断に関する対応・地域ネットワーク構築・認知症の理解・環境変化における対応・行動障害の取組・認知症治療に関する事・精神疾患における医学的・心理的な状況 等
D	入退院時における医療との連携に関する事例	医療チームへの伝達・介護チームへの伝達・説明責任・難病の取組・医療の活用・入院における介護負担に関する事・入退所におけるコンプライアンスに関する事・高齢者に多い入院を伴う疾患・感染症 等
E	家族への支援の視点が必要な事例	家族に疾患がある場合の対応・利用者と家族の受け止め方が違う場合の対応・家族が本人の生活機能に強く影響する場合の対応・家族間の関係性を対応した 等
F	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	地域支援・社会資源の特徴と対応・社会資源との連携・社会資源介入と対応・地域特性と社会資源の関係・生活保護制度・成年後見制度利用・虐待事例 等
G	状態に応じた多様なサービス（地域密着サービス、施設サービス等）の活用に関する事例	住み替えの対応・生活機能促進、利用者の主体的な選択に関する対応・説明と同意に関する事・施設サービスの対応・地域密着サービスの対応・定期巡回・随時対応型訪問介護看護・看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）・小規模多機能居宅介護活用 等

※新型コロナウイルス感染症等の影響により、日程等を変更する場合があります。

令和5年度 介護支援専門員更新研修(専門研修課程Ⅱ) プログラム

4日間 32時間(研修の科目及び時間数は国が定めた要綱に基づくものです。)

Zoomを利用したオンライン研修

日程	開催日			時間	研修時間	区分	科目名	取り扱う事例区分
	1コース	2コース	3コース					
1日目	7/25 (火)	8/1 (火)	9/6 (水)	9:15～14:05 (昼食休憩50分)	4	講義 演習	ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表/ 入退院時等における医療との連携に関する事例	D
				14:15～18:15	4	講義 演習	ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表/ 状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービスや 施設サービス等)の活用に関する事例	G
2日目	8/2 (水)	8/8 (火)	9/13 (水)	9:00～13:50 (昼食休憩50分)	4	講義 演習	ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表/ 社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する 事例	F
				14:00～18:00	4	講義 演習	ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表/ 看取り等における看護サービスの活用に関する事例	B
3日目	8/17 (木)	8/23 (水)	9/14 (木)	9:00～13:50 (昼食休憩50分)	4	講義 演習	ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表/ 認知症に関する事例	C
				14:00～18:00	4	講義 演習	ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表/ リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	A
4日目	8/24 (木)	9/1 (金)	9/27 (水)	9:00～13:50 (昼食休憩50分)	4	講義	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開	—
				14:00～18:00	4	講義 演習	ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表/ 家族への支援の視点が必要な事例	E

※ 研修1日目のみ、研修開始時刻が異なりますのでご注意ください。